

#2041



単3、単4バッテリーホルダー
4,6,8セル対応

この度はイーグルAA,AAAサイズバッテリーホルダーをお買い求め頂き誠にありがとうございます。本品は単3、単4充電池用の単セルホルダーです。
バッテリーを確実にホールドし、充放電時の抵抗ロスを軽減します。4セル、6セル、8セル対応コネクター付きで単セルミニバッテリーの充放電に大変便利です。
*本品は充電器ではありません。充電、放電をされる場合には別途に直列4cell(4.8V)、直列6cell(7.2V)、直列8cell(9.6V)に対応の充放電器が必要となります。

使用上の注意 本品使用前には必ずお読みください。

1. 本器を燃えやすい物の近くで使用しないでください。
2. 本器に水、水分、湿度を与えないでください。
3. 本器を改造しないでください。
4. 本器をスペック表以外の目的で使用しないでください。
5. 本器は単4、単3充電池用です。
6. 本器使用中は、常に作業を監視し、万バッテリーが異常発熱した場合には直ちに充電を中止してください。

1.お使いになる前に

本器は、工場出荷時には単4バッテリー（AAA）対応となっております。単4にはそのままお使い頂けます。単3のご使用は、本説明書の「単3バッテリー対応への組替え方法」を参考に正しくスペーサーを取り外してください。

2.バッテリーの固定

極性に気をつけ、バッテリーホルダー部に単3又は単4のバッテリーを左端より順にしっかりと固定します。
*4本、6本、8本で使用可能。

3.充放電器との接続

- 1).ユニット後方の4セル、6セル、8セルのいずれかのコネクターに充放電器を接続します。（図2参照）
*バッテリーは左詰めでホールドしてください。
*バッテリーを8セルホールドしても4セルコネクターへ接続してしまうと4.8Vの直列バッテリーとなります。
*1、2、3、5、7セルには対応していません。

4.充放電を行う。

- 1).以下の点を再度確認し、正しければ充電をスタートします。
・充電電流は1A以下に設定されているか?
・充電したいバッテリーに対し、充放電器の設定は適切か?
・バッテリーがバッテリーホルダーに確実に固定されているか?
・充電用入力コードにショートの恐れはないか?
・燃えやすいもの、可燃性のものが近くにないか?

- 2).充電終了したら充放電器から充電用入力コードを外し、作業終了です。

5.単3バッテリー対応への組替え方法

- 1).本器のホルダー部には2本のテンション・シャフトがあり、1本に対して2個のスペーサー小が通されています（図1-2参照）。
この1ホルダー4個（4個×8ホルダー=計32個）のスペーサーを下記のAからDを参考にして取り外します。
A.マイナス側ブロックにある16個のイモネジを緩めておきます。
B.マイナス側ブロックからテンション・シャフトを抜き取り、次にそれぞれのシャフトに通されている2つのスペーザーを外します。
(8つのホルダーと同じく作業を行います。)
C.この計32個のスペーサーを取り外し終えたら、マイナス側ブロックをもと通りに戻しますが、使用時にテンションがかかる様にお使いになる単3サイズより4mmほど狭くセッティ、イモネジで16個で固定してください。
D.パネル本体の4つの固定ビス閉めこんで完成です。バッテリーがしっかりと固定されているか再確認を行ってください。
テンションがかかるない場合は送電ロスや異常発熱の原因となり大変危険です。

- 2).プラス側、マイナス側ブロックに付いているスペーサー大（図1-2参照）を取り外します。（1ホルダー2個、計16個）

その他、ご質問等がありましたらお気軽に下記サービス・カウンターにお問い合わせください。

図1-1 全体図 +

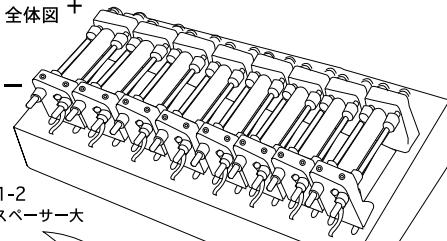


図1-2 スペーサー大

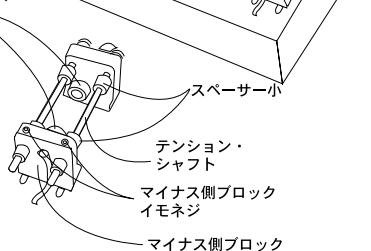


図2



〒440-0842 愛知県豊橋市岩屋町62-79

イーグル・サービス・カウンター

TEL0532-61-1554 service11@eaglemodel.com

#2041



単3、単4バッテリーホルダー
4,6,8セル対応

この度はイーグルAA,AAAサイズバッテリーホルダーをお買い求め頂き誠にありがとうございます。本品は単3、単4充電池用の単セルホルダーです。
バッテリーを確実にホールドし、充放電時の抵抗ロスを軽減します。4セル、6セル、8セル対応コネクター付きで単セルミニバッテリーの充放電に大変便利です。
*本品は充電器ではありません。充電、放電をされる場合には別途に直列4cell(4.8V)、直列6cell(7.2V)、直列8cell(9.6V)に対応の充放電器が必要となります。

使用上の注意 本品使用前には必ずお読みください。

1. 本器を燃えやすい物の近くで使用しないでください。
2. 本器に水、水分、湿度を与えないでください。
3. 本器を改造しないでください。
4. 本器をスペック表以外の目的で使用しないでください。
5. 本器は単4、単3充電池用です。
6. 本器使用中は、常に作業を監視し、万バッテリーが異常発熱した場合には直ちに充電を中止してください。

1.お使いになる前に

本器は、工場出荷時には単4バッテリー（AAA）対応となっております。単4にはそのままお使い頂けます。単3のご使用は、本説明書の「単3バッテリー対応への組替え方法」を参考に正しくスペーサーを取り外してください。

2.バッテリーの固定

極性に気をつけ、バッテリーホルダー部に単3又は単4のバッテリーを左端より順にしっかりと固定します。
*4本、6本、8本で使用可能。

3.充放電器との接続

- 1).ユニット後方の4セル、6セル、8セルのいずれかのコネクターに充放電器を接続します。（図2参照）
*バッテリーは左詰めでホールドしてください。
*バッテリーを8セルホールドしても4セルコネクターへ接続してしまうと4.8Vの直列バッテリーとなります。
*1、2、3、5、7セルには対応していません。

4.充放電を行う。

- 1).以下の点を再度確認し、正しければ充電をスタートします。
・充電電流は1A以下に設定されているか?
・充電したいバッテリーに対し、充放電器の設定は適切か?
・バッテリーがバッテリーホルダーに確実に固定されているか?
・充電用入力コードにショートの恐れはないか?
・燃えやすいもの、可燃性のものが近くにないか?

- 2).充電終了したら充放電器から充電用入力コードを外し、作業終了です。

5.単3バッテリー対応への組替え方法

- 1).本器のホルダー部には2本のテンション・シャフトがあり、1本に対して2個のスペーサー小が通されています（図1-2参照）。
この1ホルダー4個（4個×8ホルダー=計32個）のスペーザーを下記のAからDを参考にして取り外します。
A.マイナス側ブロックにある16個のイモネジを緩めておきます。
B.マイナス側ブロックからテンション・シャフトを抜き取り、次にそれぞれのシャフトに通されている2つのスペーザーを外します。
(8つのホルダーと同じく作業を行います。)
C.この計32個のスペーザーを取り外し終えたら、マイナス側ブロックをもと通りに戻しますが、使用時にテンションがかかる様にお使いになる単3サイズより4mmほど狭くセッティ、イモネジで16個で固定してください。
D.パネル本体の4つの固定ビス閉めこんで完成です。バッテリーがしっかりと固定されているか再確認を行ってください。
テンションがかかるない場合は送電ロスや異常発熱の原因となり大変危険です。

- 2).プラス側、マイナス側ブロックに付いているスペーサー大（図1-2参照）を取り外します。（1ホルダー2個、計16個）

その他、ご質問等がありましたらお気軽に下記サービス・カウンターにお問い合わせください。

図1-1 全体図 +

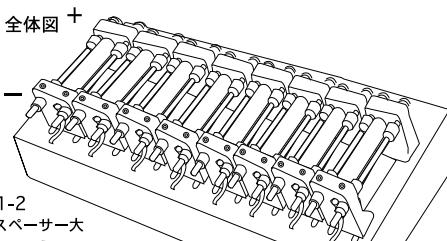


図1-2 スペーサー大

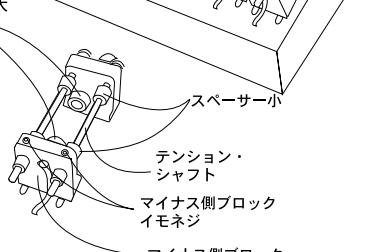


図2



〒440-0842 愛知県豊橋市岩屋町62-79

イーグル・サービス・カウンター

TEL0532-61-1554 service11@eaglemodel.com